

特殊詐欺

電話やSNSを使って、お金をだまし取る犯罪

令和7年は8件、被害総額約2,760万円の被害がありました。令和8年は7月末現在で14件、約1億5,700万円の被害があり、被害が大幅に増加しています。



特に注意！こんな手口が増えています

ニセ警察詐欺

警察官を名乗り、「あなたが犯罪に関わっている」などと不安をあおり、お金を振り込ませる手口です。

- 警察官を名乗る電話でも、すぐに信用しない
- いったん電話を切り、家族や警察に相談する
- SNSやLINEに誘導されたら要注意
- テレビ電話で警察手帳や逮捕状を見せられても信用しない
- 他府県の警察官を名乗る場合は特に注意する

SNS型投資詐欺

投資家を名乗り、「投資すれば利益が得られる」などとSNSで儲け話をして、お金をだまし取る手口です。

以下の場合には詐欺の可能性が非常に高いです。

- SNSのダイレクトメッセージで投資話を持ちかけられた
- 「必ず儲かる」と言われた
- 「有名な投資家を紹介する」と言われた

この2つが被害の6割以上を占めています

おすすめアプリ

詐欺バスター Lite



詐欺対策
by NTTタウンページ

Android



iOS



県警公式アプリは27ページの
がまけいちゃんねるで
紹介しています

- ☑ **犯罪情報を把握する**
ニュースやアプリを活用して地域の犯罪情報を知ること、不審な状況に気づきやすくなり、詐欺などの被害防止につながります。
- ☑ **施錠を徹底する**
短時間の外出でも必ず施錠しましょう。在宅時、玄関や窓などを施錠することをおすすめします。
- ☑ **歩行時は周囲に気を配る**
スマホを操作したり、イヤホンで音楽を聞いたりしながら歩いていると、周囲への注意が散漫になり、狙われやすくなります。
- ☑ **犯人は防犯意識が高い人・場所よりも、防犯意識が低い人・場所を狙います。**日頃から防犯意識を高め、「この人は狙いづらい」「ここではできない」と思わせることが重要です。具体的には、

町全体で犯罪被害を減らすためには、防犯カメラの設置が効果的です。犯人は防犯カメラに映ることを嫌がる傾向にあります。警察も、パトロール活動や出前講座、防犯キャンペーン、市役所の防災無線による注意喚起など、いろいろな方法で呼びかけをしています。急増する特殊詐欺については、警察庁が推奨するアプリを活用するなど、最新の情報を入手して被害を防ぎましょう。



蒲郡警察署 生活安全課長
阿部 亮介